

ほうゆう 朋悠たより 11^{N O V}月号

編集委員：施設長 池 功 司

いよいよ師走と成り、一年の締めくくりの月となりました。先週札幌で北海道グループホーム（GH）協議会の全道大会があり、全道10ブロックから多くの参加者あり、私も出席してきました。その中でデンマークからロルフ・バング・オールセンと言う精神科医師ほか4名の方々からデンマークでの認知症介護の講演がありました。その話の中で、デンマークでも30年前までは、認知症になったら精神科の病院に入れ家族とも会えず一生閉じ込めていたと言う話を聞いて大変驚きました。今はもうその様なことはしていないそうです。

社会保障のしっかりした国においても、認知症の人は非人道的な扱いを受けていたのです。この講演で私が一番聞きたかった話は、認知症の一つである、「前頭・側頭型認知症（ピック）」の人についてどの様な支援、介護が必要なのかという点でした。

その様な人にどう接すれば良いか質問しました。答えはこうでした。その様な人の脳は、物事の善悪・感情・行動をコントロールする機能が働かず想像も付かない事をするのだと言うのです。だから、皆とは一緒ではなく一人で落ち着ける環境を提供する事だそうです。

今は、「前頭・側頭型」は認知症の中では、13%ぐらいですが、今後増える傾向にあります。また、衝撃的だったのが認知症発症の世界最低年齢は14歳だという話でした。 <つづく>



11/9 紋別のグループホームだんらん紋別の入所さんと、我が家の人達で、今年農家の畑を借りて作った「だいこん」抜きをしてきました。大根抜きを楽しみにしていたらしく、あっという間に200を抜いてしまいました。今年は全部で1500本作り、知人や他のグループホームに配りましたが、来年はもっと多く作付けし、地域の皆様にも食べていただくと思っています。 乞うご期待。



11/28日 私達の家族の一員だった、「勝治」さんが享年84歳の生涯を閉じられました。10/30日には皆と一緒に「菊祭り」を楽しんだのですが・・・。

グループホームの中でターミナルケアを受け、娘さん達に最期をみとられて、息を引き取りました。生前、「勝治」さんは一人で散歩に出かけることが多く、ユースの方や、カドの高橋さんにはよくTELを頂ました。地域の皆様には大変お世話になりました。

有難うございました。 合掌

今月の行事予定

- 1・12/23 クリスマス会
- 2・12/28 もち付き